



# 「微生物エクスプローラーズ」 第11回 ミーティング



## 1月26日(月) 15:30~17:30

岡山大学 津島キャンパス 共創イノベーションラボ (KIBINOVE: きびのべ) 1階

ホスト: 金尾 忠芳 (環境生命自然科学学域(農) 教授)

15:30

### 開会ご挨拶

金尾 忠芳 (環境生命自然科学学域(農) 教授)



15:35

### 講演1 (45~50分)、質疑応答 (10~5分)

#### 「微生物代謝の多様性とそれを利用した細菌叢制御への展開」

佐藤 喬章 (京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 准教授)

生物にとって基幹的で広く利用されている生体分子であっても、その生合成および分解経路は微生物種によって大きく異なる場合があります。微生物代謝は多様であることが分かっています。本講演では、まず真核生物や細菌とは異なるドメインに属するアーキアと呼ばれる微生物において、ゲノム情報を基盤に同定した特有の核酸・ヌクレオシドの代謝系について概説する。さらに、腸内細菌へと代謝研究を展開したところ、核酸生合成などで機能する補酵素である葉酸の生合成酵素にも著しい多様性があることが分かってきました。この最新の話題についても紹介すると共に、代謝多様性に基づく細菌叢制御への展開の可能性についても議論する。



16:30

### 休憩

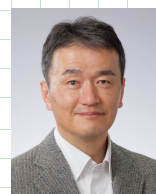
16:35

### 講演2 (45~50分)、質疑応答 (10~5分)

#### 「ゲノム情報を利用したアーキア代謝の解明」

跡見 晴幸 (京都大学 大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 教授)

アーキアは系統学的分類においてバクテリアや真核生物とは区別される第3のドメインを構成し、他のドメインには見られない生体分子や生命機能を有する。我々は超好熱性アーキア *Thermococcus kodakarensis* を対象とし、ゲノム情報を利用してその代謝や代謝制御の研究を進めてきた。ここでは arginine などのアミノ酸や coenzyme A などの補酵素の生合成を中心に、本菌の興味深い代謝酵素・経路を紹介する。



17:30

### 閉会

お問い合わせ・メンバー登録はこちら



岡山大学 研究・イノベーション共創機構

彭子瀟 (学術研究コーディネーター) peng-zixuan@okayama-u.ac.jp

畑中 耕治 (主任URA) koji.hatanaka@okayama-u.ac.jp



←お申込みはこちら